

5月30日(金) プログラム

8:30 ~ 8:40

開会挨拶

8:40 ~ 9:55

一般演題 G1 交通安全対策

座長：有賀 徹（昭和大学医学部 救急医学講座）

G1-1. 歩行環境シミュレータを用いた高齢者と若年者の車両知覚能力の比較

○静 敦夫¹、水戸部 一孝¹、齊藤 正容¹、吉岡 尚文²、吉村 昇¹

¹秋田大学 工学資源学研究科、²秋田大学 医学部

G1-2. 仮想空間を利用した接近速度弁別能力検査システムの開発とその評価

○寺田 裕樹¹、水戸部 一孝²、猿田 和樹¹、武田 和時¹、吉村 昇²

¹秋田県立大学、²秋田大学

G1-3. 車椅子転倒事故による頭部外傷についての生体工学的解析

○一杉 正仁¹、本澤 養樹^{1,2}、川戸 仁¹、徳留 省悟¹

¹獨協医科大学法医学教室、²本田技術研究所

G1-4. 視覚情報制限下における超指向性スピーカの誘導効果と周囲音の影響

○碓 直史、越智 崇文、大倉 元宏

成蹊大学

G1-5. 地下鉄駅舎の蓄光ラインによる視覚障がい者の安全誘導対策に関する研究

○原野 脩平¹、松岡 大介¹、藤田 晃弘¹、釜石 忠美²

¹名城大学理工学部、²オサタ技研株式会社

10:00 ~ 10:20

会長講演

司会：大久保 堯夫（健康科学研究所）

北海道における救急医療の展望

浅井 康文

札幌医科大学 医学部 救急・集中治療医学講座

10:20 ~ 11:00

教育講演

司会：都築 正和（財団法人 日本国際医学協会 / 東京大学）

やさしい交通安全

加来 照俊

北海道大学

11:00 ~ 12:00

一般演題 G2 交通事故分析

座長：武市 早苗（医療法人社団 敬仁会）

G2-1. ブレーキホースの破損事故事例

戸田 均
三重県警察

G2-2. 運送車両夜間走行における反射材の有効性に関する研究

○三林 洋介¹、上野 俊夫²、渡邊 裕³、伊藤 薫平⁴、神田橋 宗行⁴、
高尾 皓允⁴、大久保 堯夫⁵

¹ 東京都立産業技術高専、² 神奈川大学、³ 健康科学研究所、⁴ 交通科学協議会、⁵ 日本大学

**G2-3. 日本における飲酒運転防止対策の取り組み
ーアルコール・インターロック装置の活用ー**

○麻生 勤¹、釣 慎一朗²、平澤 崇裕²、島 雅之²、竹内 健蔵³

¹ 日本自動車研究所、² 国土交通省、³ 東京女子大

G2-4. 時間制限駐車区間での手数料支払い行動の判別について

堂柿 栄輔
北海学園大学 工学部社会環境工学科

12:30 ~ 13:30

ランチオンセミナー

司会：山木 垂水（医療法人社団 同仁会 京都九条病院）

AEDの普及状況と除細動に関する話題

奈良 理
札幌医科大学 医学部 救急・集中治療医学講座

共催：株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

14:00 ~ 15:00

特別講演

司会：丸茂 裕和（医療法人社団 恵仁堂 丸茂病院）

ドクターヘリ（救急医療用ヘリ）本格普及への課題

國松 考次
認定 NPO 法人 救急ヘリ病院ネットワーク（HEM-Net）

15:30 ~ 16:40

シンポジウム S1 交通安全対策への取り組み

司会：阿久津正大（玉川大学工学部マネジメントサイエンス学科）

上田 守三（東邦大学医学部附属大橋病院第二脳外科）

S1-1. PC Crash を用いた事故再現の例

○小澤 芳裕¹、木村 説男¹、

¹(株)ジャスティ、²(株)YNDRD

S1-2. 当院 ER における自動車事故の実態調査

ーシートベルトやエアバッグはどの程度有効か？

篠原 一彰

太田西ノ内病院 救命救急センター

S1-3. エアバッグ及びシートベルト装着にもかかわらず腸管破裂を来した多発外傷の一例

○吉田 剛、川嶋 隆久、小野 大輔、渡辺 友紀子、李 俊容、安藤 維洋

陵城 成浩、遠山 一成、高橋 晃、中尾 博之、石井 昇

神戸大学大学院医学研究科 災害・救急医学分野

S1-4. シートベルト非装着の後席乗員による前席乗員への加害性

○本宮 嘉弘¹、山内 春夫²

¹新潟県警察本部 科学捜査研究所、²新潟大学大学院 法医学分野

16:40 ~ 17:40

一般演題 G3 交通安全教育

座長：大倉 元宏（成蹊大学理工学部）

G3-1. 交通事故総量抑制対策

「安全車間距離保持『0102 運動』」の推進

関根 英仁

埼玉県警察本部交通部交通企画課

G3-2. 運転適性検査（OD 式）から見た企業ドライバーの特性について

○横田 幸¹、小菅 英恵¹、山下 富美代²

¹(株)電脳、²立正大学

G3-3. 地域での高齢ドライバー交通安全学習の効果と課題

溝端 光雄

東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所

G3-4. 開発途上国への交通安全に関する技術協力

ーベトナムでの実施例からー

小林 實

(株)損害保険ジャパン、(財)国際交通安全学会